

『平成27年度中学生ふるさと民泊学習推進事業』活動報告書

【中学生ふるさと民泊学習推進事業】

中学生ふるさと民泊学習推進事業における民泊体験活動 山口県美祢市立伊佐中学校

学 校 の 概 要

① 学校規模

- 学級数：4学級
(内特別支援学級1学級)
- 生徒数：80人
- 教職員数：12人
- 活動の対象学年：1年生29人

② 体験活動の観点などからみた学校環境

- 県の中西部に位置し、緑豊かな山に囲まれている。保護者は協力的で、学校行事や各種体験活動(学年活動)等に積極的に参加される。また、地域もコミュニティ・スクールの学習支援やゲストティーチャー等で協力体制が整っている。
- 本校生徒は、1つの小学校から1つの中学校に入学するため、人間関係が固定化されている。そのため、自分の思いや考えを集団の中で伝えたり、発揮することに戸惑いを感じ、消極的になっている生徒が多い。

③ 連絡先

- 〒759-2222
山口県美祢市伊佐町伊佐4616
- 電 話：0837-52-0307
- F A X：0837-52-1608
- ホームページ
<http://www.c-able.ne.jp/~isa-j/>
- 電子メール
isa-j@c-able.ne.jp

体 験 活 動 の 概 要

① 活動のねらい

- 民泊体験学習を通して、生徒の主体性や豊かな人間性を育てると共に美祢市の素晴らしさを伝える。
- 農漁村の自然や人々との交流の中で、働くことの意義やすばらしさ、重要性について学ぶ。
- 自主自立的な共同生活を通して、規律ある生活態度と集団生活の基本を身に付ける。

② 活動内容と教育課程上の位置付け

- 事前指導
総合的な学習の時間6単位時間
学級活動2単位時間
道徳1単位時間
- 事前学習「美祢市について学ぶ」
道徳1単位時間
- 民泊体験学習
総合的な学習の時間18単位時間
山口県長門市通地区
(長門市観光コンベンション協会)
- 事後指導
総合的な学習の時間4単位時間
学級活動2単位時間

1 活動に関する学校の全体計画

(1) 活動のねらい

- 民泊体験学習を通して、生徒の主体性や豊かな人間性を育てると共に美祢市のすばらしさを伝える。
- 農漁村の自然や人々との交流の中で、働くことの意義やすばらしさ、重要性について学ぶ。
- 自主自立的な共同生活を通して、規律ある生活態度と集団生活の基本を身に付ける。

(2) 全体の指導計画

活動時期・期間	実施する体験活動の概要	教科・領域	
4月中旬～ 5月中旬	【事前学習】 ○ 民泊体験学習の概要・目的 ○ 個人目標、学級スローガン ○ 民泊体験学習のきまり ○ 調べ学習（金子みすゞ・研修場所） ○ 大漁旗作成 ○ 美祢市について学ぶ	総合的な 学習の時間 学級活動 道徳	6 2 1
5月25日～ 5月27日	【民泊体験学習】 ○ 幕末維新研修 ○ 金子みすゞ記念館 ○ 青海島キャンプ村遊歩道散策 ○ 入村式（民泊滞在先家庭との対面式） ○ 波止場釣り体験 ○ 魚さばき方体験 ○ 漁船の乗船体験 ○ クジラ文化体験 ○ A F P Y ○ 海岸清掃体験 ○ 退村式	総合的な 学習の時間	1 8
5月下旬	【事後学習】 ○ 民泊体験学習の反省・感想 ○ 民泊滞在先家庭への礼状 ○ 民泊体験学習レポート作成 ○ 民泊体験学習レポート発表会	学級活動 総合的な 学習の時間	2 4
10月24日	○ 宿泊体験学習の発表	総合的な 学習の時間	1

2 活動実際

(1) 事前指導

① 民泊体験学習の個人目標、学級スローガン、きまりについての検討

民泊体験学習を有意義なものにするために、教員から示された目的に沿って、個人の目標を設定し、個人及びグループでの話し合いをもとに学級のスローガンを決定した。

きまりについては、様々な活動場面を想定し、特に研修中や民家での生活など細かな部分での留意事項を決定した。

② 事前学習「美祢市について学ぶ」

美祢市教育委員会事務局世界ジオパーク推進課 課長 末岡竜夫様に来校いただき、「美祢市のエエこと」と題して、1時間の講演をしていただいた。美祢市のよさを再認識すると共に長門市との違いを学んだ。

③ 事前学習「金子みすずについて学ぶ・研修場所を調べる」

1年担任が国語科を担当しているので、ワークシートを活用して学ぶと共にインターネットを利用して、金子みすずについて調べた。研修場所の中から2箇所選択して調べ学習を行った。

④ 大漁旗の作成

民家にお世話になるお礼の意を込めて、各家庭に進呈する大漁旗を作成した。

(2) 活動の展開（プログラム）

5月25日（月）		5月26日（火）		5月27日（水）	
8:30	中学校集合		滞在先家庭で朝食		滞在先家庭で朝食
9:00	中学校出発	9:00	小浦埋立地に集合	9:00	公民館に集合
	NHK大河ドラマ館	9:10	波止場釣り体験	9:10	A F P Y
10:00	松陰神社	11:00	魚さばき方体験	11:30	海岸清掃体験
	三隅二条窪	12:15	昼食	12:30	昼食
10:40	昼食	14:00	A班：漁船への乗船体験、 クジラ文化体験	13:00	退村式
	村田清風記念館		B班：A班と逆	13:30	青海島出発
11:30	金子みすず記念館			14:30	中学校到着
	青海島遊歩道散策			14:40	終学活
11:50	入村式	16:00	滞在先家庭へ移動		下校
	民泊滞在先各家庭と				
12:35	の対面式				
13:30	滞在先家庭へ移動				
14:45					
16:00					



NHK大河ドラマ館



村田清風記念館



金子みすゞ記念館



遊歩道散策



波止場釣り体験



魚さばき方体験



漁船航行体験



A F P Y



お別れ式

(3) 事後指導

① 民泊滞在先家庭への礼状

民泊で2日間お世話になった滞在先家庭に、心に残ったことや自分の思いを文章に表し、感謝の気持ちを伝えるという指導を行った。

② 民泊体験学習レポートの作成および発表会

各グループで大判用紙1枚に、活動内容、民家の人との交流内容、感想などを記入したレポートを作成した。保護者参観日に、レポートの発表会を行った。

③ 民泊体験学習の発表

10月24日の校内文化祭で、全校生徒や保護者、地域の人々に、発表する予定である。

3 体験活動の実施体制

(1) 学校や受入地域の支援体制

- ① 学校・・・校長、教頭、教諭（学年担当3人）
- ② 受入地域・・・長門市観光コンベンション協会、くじら資料館館長、村田清風記念館館長

(2) 配慮事項等

- ① 家庭訪問で、健康上配慮して欲しいことがらについて話をした。また、事前に食物アレルギー、動物アレルギーについての調査を行った。その結果については、長門市観光コンベンション協会を通じて、滞在民泊先に事前連絡を行った。
- ② 女子生徒に対する指導は、養護教諭が学級活動の時間に行った。
- ③ 民泊時の夜間の緊急時については、学年担当教員2名が青海島内の宿泊施設に2日間滞在し、対応に備えた。

4 体験活動の評価の工夫と指導の改善

(1) 体験活動の評価の工夫

活動ごとに宿泊学習のしおりにメモをさせた。また、その日の夜に十分な時間を取り、自分の活動を振り返り、反省を行うよう指導した。

(2) 指導の改善

生徒の反省結果を集計して生徒に返し、生徒自ら、今回の民泊体験学習を振り返らせることで、これからの生活に生かすように指導した。

5 活動の成果と課題

(1) 生徒の変容

次ページ参照

この調査結果から、

- 質問3、4、11が大きく伸びている。特に、質問11「いなかで暮らしてみたいと思う」が、体験後増えた。
- 上記のことから、自分の立場をしっかりと理解し、先を見通して計画的に実行に移せ、できないことはできないと自分の意志を表現できるようになったことがわかる。
- ほとんどの質問項目において伸びており、今回の民泊体験学習を含む体験活動は、これまで多くの学校が実施している青少年宿泊施設を利用した活動と異なり、多くの人達と出会い、コミュニケーションをとることにより、生徒に及ぼす教育効果がより高くなったと考えられる。

(2) 今後の改善の取組

体験活動がいかに教育効果が高いものであるかが、今回の民泊体験学習からわかった。そこで、この時期に実施している3年の修学旅行、2年の職場体験学習と合わせて、1年もこの民泊体験学習をキャリア教育の一環として、3年間を見通した全校あげてのそれぞれの学校行事に位置づけたい。そして、今以上に、生徒が積極的に取り組むことができるように、できるだけ生徒たちの手で企画・運営させていきたい。また、コミュニティ・スクールの観点から広域にわたる地域人材を活用することで、生徒の視野を広げるとともに様々な分野の活動の場を多く取り入れていき、保護者、地域を巻き込みながら、子どもた

ちの豊かな人間性の育成を目指したい。

事前事後のアンケート結果から

- 質問1 早寝早起きである
 質問2 初めて出会う生き物を触ることができる
 質問3 花や風景などの美しいものに感動できる
 質問4 初めて会った大人の人と話ができる
 質問5 人の話をきちんと聞くことができる
 質問6 先を見通して、自分で計画が立てられる
 質問7 自分から進んで何でもやる
 質問8 相手の気持ちを考えて行動することができる
 質問9 自然を守っていかないといけないと思う
 質問10 今までやったことのない体験をしてみたいと思う
 質問11 いなか（山や海に囲まれた地域）で暮らしてみたいと思う
 質問12 米や野菜を作ったり魚をとったりする仕事は大切だと思う
 質問13 地域の伝統や文化を守っていかないといけないと思う

（6：非常にあてはまる 5：よくあてはまる 4：ややあてはまる
 3：どちらでもない 2：あまりあてはまらない 1：あてはまらない）

	質問1	質問2	質問3	質問4	質問5	質問6	質問7	質問8	質問9	質問10	質問11	質問12	質問13
実施前	4.46	3.86	4.86	4.57	4.89	4.46	4.43	4.61	5.75	5.61	5.14	5.75	5.86
実施後	4.61	3.86	5.21	5.21	4.86	4.57	4.57	4.71	5.79	5.89	5.61	5.89	5.89
変化率	0.14	0.00	0.36	0.64	-0.04	0.11	0.14	0.11	0.04	0.29	0.46	0.14	0.04

